

9月7日(午前) A会場 (Zoom)

セッション G02 環境地球化学・放射化学
コンピーナー: 板井 啓明・日高 洋・益田 晴
恵・中川 書子・赤田 尚史・吉田 栄一

9:00-9:20 PR0016
Distribution of uranium and arsenic
between sediment and water of alkaline-
hyposaline lake from Valley of Gobi Lakes
in Mongolia
○Baasansuren Gankhurel (金沢大)・福士 圭
介・Davaadorj Davaasuren・今井 英吾・北島
卓磨・Tuvshin Gerelmaa・関根 康人・高橋 嘉
夫・長谷部 徳子

9:20-9:40 PR0115
本邦湖沼のリン循環に関する比較湖沼学的再評
価
○石水 浩喜(東大)・板井 啓明

9:40-10:00 PR0177
富士五湖、仁科三湖、裏磐梯三湖におけるケイ
素動態の解析
○田柳 紗英(東大)

10:00-10:20 PR0070
火山性流体起源のヒ素およびホウ素の河川水-
堆積物間分配挙動
○伊藤 茜(関西学院大)・谷水 雅治・中川 卓
樹・根田 直哉・室田 桃果

10:20-10:30 <休憩>

10:30-10:50 PR0024
バーネス鉱(δ -MnO₂)共沈系におけるZn表面錯
体形成と表面沈殿機構の解明
○田嶋 翔太(早稲田大)・淵田 茂司・所 千晴

10:50-11:10 PR0025
Understanding the anions effect on the
selectivity and surface complexation
kinetics of arsenic to iron-based
adsorbent
○Zubair Yusuf Olalekan(早稲田大)・所 千
晴・淵田 茂司・Mauricio Cordova-Udaeta

9月7日(午前) B会場 (Zoom)

セッション G06 宇宙化学:ダストから惑星、生命
へ
コンピーナー: 藤谷 渉・藪田 ひかる・横山 哲
也・寺田 健太郎・三浦 弥生・三河内 岳・橋口
未奈子

9:00-9:20 PR0203
超微量測定システムの開発と炭素質隕石中の炭
素/窒素/硫黄の定量および多次元同位体比分析
の最適化
○小川 奈々子(海洋研究開発機構)・高野 淑
識・大河内 直彦・奈良岡 浩

9:20-9:40 PR0157
太陽系小天体の表面過程の理解のための有機物
の宇宙曝露実験
○癸生川 陽子(横浜国大)・古賀 優志・松岡
萌・左近 樹・小林 憲正・伊藤 元雄・山下 翔
平・武市 泰男・高橋 嘉夫・三田 肇・矢野 創

9:40-10:00 PR0198
炭素質コンドライト隕石中の抽出可溶有機分子
の化学組成と質量分布
○伊佐 純子(東工大)・オードニー フランシ
スレジース・ヴィトン ヴェロニク・ロランド
ティッセン・ウォルター セドリック・オージ
エ バジル・フロンディネ ロレン・ゾレンスキ
ー マイケル

10:00-10:20 PR0180
Allende 隕石中細粒 CAI に見られる核合成起源
の Sr 同位体異常の多様性
○増田 雄樹(東工大)・横山 哲也

10:20-10:30 <休憩>

10:30-10:50 PR0087
初期太陽系における¹³⁸La 同位体不均質性の検
証
○鈴木 充(東大)・飯塚 毅・山本 康太・平田
岳史

10:50-11:10 PR0032
原始太陽系円盤におけるコンドラール形成領域
の変遷
○福田 航平(ウィスコンシン大)・Guillaume
Siron・Travis Tenner・木村 真・Andreas
Hertwig・Noel Chaumard・富岡 尚敬・牛久保
孝行・木多 紀子

11:10-11:30 PR0090
海洋生態系における鉄安定同位体比分布とその
制御要因
○長谷川 菜々子 (東大)・板井 啓明・高橋 嘉
夫

11:30-11:50 PR0200
湖沼の微量元素ホメオスタシス 第一報
○板井 啓明 (東大)

11:50-12:10 PR0036
コンクリーション化による EDZ および水みち亀
裂の自己シーリングに関する研究
○吉田 英一 (名大)・山本 鋼志・丸山 一平・
浅原 良浩・刈茅 孝一

12:10-12:30 <総合討論>

12:10-13:30 <休憩>

9月7日 (午後) A会場 (Zoom)

セッション G01 大気とその境界面における地球
化学

コンピーナー: 岩本 洋子・角皆 潤・宮崎 雄
三・伊藤 彰記・大森 裕子

13:30-14:00 招待講演 PR0093
大気中のメタン濃度の変動と現代の同位体測定
の課題
○梅澤 拓 (国立環境研究所)・寺尾 有希夫・
遠嶋 康徳・丹羽 洋介・伊藤 昭彦・森本 真
司・Naveen Chandra・Prabir Patra

14:00-14:20 PR0091
土壌由来一酸化二窒素の三酸素同位体組成
○黄 天政 (名大)・角 皆潤・Kim Yongwon・中
川 書子・伊藤 昌稚

14:20-14:40 PR0089
GOSAT-GW 衛星による温室効果ガス及び大気汚
染物質の排出観測
○谷本 浩志 (国立環境研究所)・松永 恒雄・
三枝 信子・杉田 考史・八代 尚・森野 勇・齊
藤 誠・大山 博史・池田 恒平・染谷 有・藤縄
環・山下 陽介・佐伯 田鶴・佐伯 田鶴・金谷
有剛・Yugo Kanaya・関谷 高志・滝川 雅之・
PATRA Prabir・笠井 康子・佐藤 知紘

14:40-15:00 PR0040
青森県弘前周辺の積雪試料中の無機イオン組成
の特徴
○秋田谷 美乃 (弘前大)・松山 阿孝・吉仲 由
季子・野尻 幸宏

11:10-11:30 PR0169
HED 隕石の Mn-Cr システマティクス
○山下 勝行 (岡山大院)・高橋 典子・米田 成
一・澤田 順弘

11:30-12:00 基調講演 PR0129
消滅核種ニオブ 92 の太陽系初生存在度の高精
度決定
○羽場 麻希子 (東工大)

12:00-12:20 <総合討論>

12:20-13:30 <休憩>

13:30-13:50 PR0059
炭酸塩中の Fe が Mn-Cr 年代測定に及ぼす影響
○菅原 慎吾 (茨城大)・藤谷 渉・山口 亮

13:50-14:10 PR0194
Fe-Ti 酸化物を用いた Pb-Pb 年代測定法の開発
○伊藤 健吾 (東大)・飯塚 毅

14:10-14:30 PR0151
タギッシュレイク隕石中の可溶性有機物の空間
分布と水質変質の影響
○橋口 未奈子 (名大)・奈良岡 浩

14:30-14:50 PR0196
炭素質小惑星様物質の脱ガス様式
○黒澤 耕介 (千葉工大)・小松 吾郎・薮田 ひ
かる・森脇 涼太・石橋 高・大野 遼・三河内
岳・松井 孝典

15:00-15:20 PR0190
船舶由来の硫酸・シュウ酸エアロゾルの化学種
解明と反応過程の解析
○今町 海斗（東大）・名取 幸花・栗栖 美菜
子・宮本 千尋・高橋 嘉夫

15:20-15:40 PR0073
燃焼気化に伴う同位体分別の考察に基づく大気
エアロゾル中亜鉛の起源および大気中の挙動の
解明
○名取 幸花（東大）・藤原 将智・谷水 雅治・
栗栖 美菜子・高橋 嘉夫

15:40-16:00 PR0098
北太平洋亜寒帯域におけるエアロゾル中の鉄化
学種・安定同位体比に基づく起源別の鉄の寄
与推定
○栗栖 美菜子（海洋研究開発機構）・坂田 昂
平・小畑 元・西岡 純・Tim M. Conway・鈴木
勝彦・柏原 輝彦・高橋 嘉夫

16:00-16:20 PR0057
冷温帯林における大気エアロゾル中の第二級脂
肪族アルコールの起源
○崔 羽皓（北大）・宮崎 雄三

16:20-16:40 PR0050
円石藻 *Calyptrosphaera* sp. による揮発性有機
化合物の生成に対する光量の影響
○清水 南帆（日大）・井上 徹・奥田 祐樹・橋
本 伸哉

16:40-17:00 PR0048
藍藻 *Synechococcus elongatus* によるモノハロ
メタン生成へのリン濃度の影響
○奥田 祐樹（日大）・齋藤 健志・橋本 伸哉

17:00-17:20 PR0078
北海道噴火湾における有機ヨウ素ガスの減衰
○大木 淳之（北大）・宮下 直也・梅澤 沙知・
戸澤 愛美・野村 大樹

17:20-17:30 <総合討論>

14:50-15:10 PR0149
木星氷衛星探査計画 JUICE—JUICE-Japan の目
指すサイエンスと地球・宇宙化学分野との連携
○関根 康人（東工大）・齋藤 義文・浅村 和
史・塩谷 圭吾・笠井 康子・笠羽 康正・春山
純一・松岡 彩子

15:10-15:40 招待講演 PR0125
水質変成を受けた炭素質コンドライトから見出
された CO₂ に富む流体包有物とその惑星科学的
意義：統一的な太陽系始原物質形成と進化のモ
デルを目指して
○土山 明（立命館大）・松野 淳也

15:40-16:00 <総合討論>

9月7日(午前) C会場 (Zoom)

セッション G07 素過程を対象とした地球化学

コピーナー：柏原 輝彦・福士 圭介・太田 充
恒・高橋 嘉夫・阿部 穰里・力石 嘉人・古川 義
博

9:00-9:30 基調講演 PR0146

星間塵表面における化学反応素過程研究の最前
線

○大場 康弘 (北大)

9:30-9:50 PR0052

氷衛星条件を想定したガスハイドレートの生成
に伴うメタンガスの安定炭素・水素同位体分別

○工藤 久志 (神戸大)・谷 篤史・山田 桂太・
吉田 尚弘

9:50-10:10 PR0058

エウロパ表面での酸化剤生成の物質選択性：内
部海化学、生命利用エネルギーへの影響

○丹 秀也 (東工大)・関根 康人・末松 久幸・
菊池 崇志・羽馬 哲也・高橋 嘉夫

10:10-10:30 PR0131

氷火山噴出時の急減圧に伴う塩水の発泡破碎と
塩析出：セレス内部海の化学進化への示唆

○依田 優大 (東大)・関根 康人・丹 秀也・渋谷
岳造

10:30-10:50 PR0066

化学交換反応系におけるタングステン同位体分
別の原子核体積効果の推定と宇宙化学への応用

○有泉 涼子 (学習院大)・大野 剛・深海 雄介

10:50-11:00 <休憩>

11:00-11:30 基調講演 PR0212

地球化学と分子の第一原理計算、現在の最先端
とこれから期待できる研究

○ダニエラチェ セバスティアン (上智大)

11:30-11:50 PR0108
低温低圧における SO₂ 光解離反応の硫黄同位体
非質量依存分別

○遠藤 美朗 (東工大)・関根 康人・上野 雄一
郎

11:50-12:10 PR0083
光化学反応における水銀同位体分別の波長依存性

○平野 隼 (学習院大)・大野 剛・深海 雄介

12:10-12:30 PR0211
X線吸収端近傍構造解析と量子化学計算を用い
た海底マンガン酸化物中のバナジウムの同位体
分別の推定

○田中 雅人 (東大)・柏原 輝彦・高橋 嘉夫

12:30-13:30 <休憩>

13:30-14:00 招待講演 PR0143
鉱物溶解/成長時の pH およびイオン濃度分布変
化を可視化する：蛍光プローブを用いた試み
○川野 潤 (北大)

14:00-14:20 PR0110
天然水中の溶存と懸濁物/堆積物の間の Cs-137
分配係数の化学的意味について
○廣瀬 勝己 (富士山環境研究センター)・恩田
裕一・塚田 祥文・平山 愉子・岡田 往子・木
川田 喜一

14:20-14:40 PR0135
ラジウムの水和構造及び粘土鉱物への吸着構造
の解明
○山口 瑛子 (東大)・永田 光知郎・田中 万
也・小林 恵太・奥村 雅彦・小林 徹・下条 晃
司郎・谷田 肇・関口 哲弘・金田 結依・松田
晶平・横山 啓一・矢板 毅・矢板 毅・吉村
崇・吉村 崇・高橋 嘉夫

14:40-15:00 PR0183
レアアースイオン吸着型鉱床の原岩における重
レアアースの起源と分布
○長澤 真 (東大)・高橋 嘉夫

15:00-15:20 PR0137
天然でのレアアースの吸着や共沈による濃集プロセスの系統的な比較
○高橋 嘉夫 (東大)・長澤 真・秦 海波・山口 瑛子・柏原 輝彦・田中 万也

15:20-15:50 招待講演 PR0088
高圧下蛍光 XAFS 法による初期地球深部における微量元素の分配挙動の解明
○小澤 佳祐 (東大)・廣瀬 敬

15:50-16:10 PR0075
Fe(II)-Si-H₂O 系および Mg-Si-H₂O 系における常温常圧下での鉱物の沈殿形成
○西木 悠人 (北大)・佐久間 祐樹・大竹 翼・菊池 亮佑・佐藤 努

16:10-16:30 PR0148
Bragg 型分光器を用いた高エネルギー分解能蛍光検出 XANES による天然試料中の微量ユウロピウムの酸化状態決定
○小長谷 莉未 (東大)・河村 直己・山口 瑛子・高橋 嘉夫

16:30-16:50 PR0164
初期火星における二価鉄光酸化反応と酸化還元成層した Gale 湖の古環境推定
○田畑 陽久 (東工大)・関根 康人・尾崎 和海・菅崎 良貴・杉田 精司

16:50-17:10 PR0035
二価鉄サポナイトからの水素分子生成：分子地球化学による初期火星環境への示唆
○野田 夏実 (東工大)・関根 康人・高橋 嘉夫・佐久間 博・河合 敬宏・中川 麻悠子・北台 紀夫・Kristin Johnson-Finn・Shawn McGlynn

17:10-17:30 PR0178
初期火星における強酸性表層水による表層の Al に富む粘土鉱物形成の可能性
○杉内 光輝 (東工大)・関根 康人・丹 秀也・野田 夏実・高橋 嘉夫